安全データシート(SDS)

1．製品および会社情報

会 社 名	：	昭石化工株式会社
住　　所	：	東京都港区台場 2−3−2（担当部門：営業部）
電話番号	：	03−5531−7063（Fax03−5531−6811）

製品名　　フジクロス　V

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

急性毒性	経口	：	分類できない
	経皮	：	分類できない
	吸入（蒸気）	：	分類できない
皮膚刺激・腐食性		：	区分２
眼損傷性・眼刺激性		：	区分２Ｂ
感作性	呼吸器	：	分類できない
	皮膚	：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分外
生殖毒性		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)		：	区分３
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)		：	分類できない
吸引性呼吸器有害性		：	分類できない
水生環境有害性（急性）		：	分類できない
水生環境有害性（慢性）		：	分類できない

＊記載がないものは分類対象外または分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵文字またはシンボル　：

注意喚起語　：　警告

危険有害性情報

有害性	：	皮膚刺激、眼刺激、呼吸器への刺激のおそれ
環境影響	：	通常の状態では人の健康に対する有害な影響は少ない

化学物質等の分類（日本方式）	：	分類基準に該当しない。
危険性(物理的・化学的)	：	着火源があれば燃える。
特定の危険有害性	：	現在のところ知見なし。

注意書き

安全対策	：	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱,火花,裸火,高温の着火元になるものを遠ざけること。 火花を発生しない工具を使用すること 環境への放出を避けること。
救急処置	：	４．応急処置を参照
保管	：	直射日光、雨水を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。
廃棄	：	国際/国/都道府県/市区町村の規則に従って廃棄すること。

３．組成，成分情報

単一製品・混合物の区分　：混合物

化学名（一般名／別名）　：ガラス長繊維含有物（ウレタン塗膜系防水材補強用クロス）

成分及び含有量　：

成分名		含有量（%）	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR法
ｱﾙﾐﾅ硼ｹｲ酸ｶﾞﾗｽ		51	特定できない	65997-17-3	化審法 ― /安衛法 ―	非該当
不織布(*)	ﾎﾟﾘﾋﾞﾆﾙｱﾙｺｰﾙ	49	$(C_2H_4O)_x$	9002-89-5	化審法 6-682/安衛法 ―	非該当
	ｱｸﾘﾛﾆﾄﾘﾙ共重合体		(C4H6O2.C3H3N)x	24980-62-9	化審法 6-296/安衛法 ―	非該当
			データなし	26062-50-0	化審法 6-335/安衛法 ―	非該当
	ｱｸﾘﾙ系樹脂		ﾒｰｶｰ未公開	ﾒｰｶｰ未公開	化審法 ― /安衛法 ―	非該当

(*)不織布は、GHS分類基準に該当しない(対象外)。表示・通知対象物質に該当しない。

４．応急処置

目に入った場合	：	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。洗眼の際、まぶたの裏や眼球の隅々まで完全に洗うこと。もし痛みなどの異状が残る様であれば医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	：	ｶﾞﾗｽ繊維配合物の為、絶対にこすらないこと。流水で洗い、次いで温水で石鹸を用いて洗う。
吸入した場合	：	清浄な水で10回程度うがいをする。また、軽く鼻をかむこと。鼻や喉にかゆみや痛みなどの異状が残るようであれば、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	：	できるだけ吐き出させる。不快感が残るようであれば、医師の診断を受ける。

５．火災時の措置

消火剤	：	水、炭酸ガス、泡、粉末消火剤
特定の消火方法	：	可燃性の物を速やかに周囲から取り除き、保護具を着用して消火する。関係者以外の立入を禁止する。
消火を行う者の保護	：	消火を行う者は風上から行う。必要に応じて消火作業には呼吸器用保護具を着用する。
火災周辺の措置	：	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。周辺に散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項	：	人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。必要に応じて保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
環境に対する注意事項	：	屋外に散乱した場合は、風などで飛び、電線に絡み付く等の二次災害の発生となる恐れがあるため、速やかに集めて処分する。
除去方法	：	袋などの入れ物に回収し、安全な場所に移す。
二次災害の防止	：	付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を準備する。廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	切断等により粉じんの発生を伴う場合は、下記の「取扱者の暴露防止」に従うこと。 周囲で火気、高温物の使用を禁止する。可燃物を近くに置かない。
取扱者の暴露防止	：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等の保護具を着用する。取扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを十分に行う。
安全取扱注意事項	：	眼に入らないように適切な保護具を着用する。

保管

技術的対策(保管条件)	：	直射日光や雨水を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。

8．暴露防止及び保護措置

設備対策	：	取扱い場所の近くに手洗い・洗眼の設備を設け、その位置を表示する。換気装置を設置する。特に粉じんが発生する場合には局所排気装置を設置する。
管理濃度	：	設定されていない
許容濃度	：	ｶﾞﾗｽ長繊維(粉じん障害防止規則；3.0mg/m³)

	日本産業衛生学会(2013 年版)	ACGIH
ｶﾞﾗｽ長繊維 ；	2mg/m³(吸入性粉じん) 8mg/m³(総粉じん)	1fiber/cm³ TWA (respirable fraction)

適切な保護具

呼吸器系の保護	：	必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	：	必要に応じてｶﾞﾗｽ繊維を通しにくい保護手袋を着用する。
目の保護	：	必要に応じて側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	：	必要に応じて長袖・長ズボン静電気防止作業衣、安全靴を着用する。
適切な衛生対策	：	作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

9．物理的及び化学的性質

物理的状態　形状	：	紙管等に巻いたネット状シート
色	：	白
臭気	：	無臭
ＰＨ	：	データなし
融点／凝固点	：	ｶﾞﾗｽ繊維；約 840℃(軟化点)
沸点	：	データなし(製品)
引火点	：	データなし(製品)
発火点	：	データなし(製品)
爆発特性	：	データなし(製品)
蒸気圧	：	データなし(製品)
蒸気密度	：	データなし(製品)
密度	：	データなし(製品)
溶媒に対する溶解性	：	(水, 25℃)ガラス繊維；ほとんど溶けない、ｱｸﾘﾙ系樹脂；水に不溶であるが、残留及び架橋しきれていないモノマー等が溶け出す可能性がある。
ｵｸﾀﾉｰﾙ/水分配係数	：	データなし

１０．安定性及び反応性

安定性	：	常温、単独では安定である。
反応性	：	ｶﾞﾗｽ繊維以外は、高温では一部熱分解する。着火源があれば燃える。
避けるべき条件	：	水分、直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
混触危険物質	：	特になし。
危険有害な分解生成物	：	ｶﾞﾗｽ繊維自体は不燃性。繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は一般に可燃性。燃焼時はCO,CO2,H2Oの燃焼副生成物が発生する。

１１．有害性情報　（不織布に含まれる含有成分は、有害性情報なし）

皮膚腐食性/刺激性	：	職業ばく露で機械的刺激により、強い掻痒と刺激を生じた。これらの機械的刺激は一時的であり、5μm以上の繊維との関連がある。また、職業ばく露で刺激性の皮膚炎も生じている。4～13μm径の長繊維(表面処理剤なし)を用いたヒト皮膚に対するパッチテストで異状は認められなかった。【区分２】
眼損傷/眼刺激性	：	職業ばく露で刺激性が認められている。これらの機械的刺激は一時的であり、5μm 以上の繊維との関連がある。(ACGIH/2001,ATSDR/2004)【区分２Ｂ】
感作性	：	(皮膚)　【分類できない】 (呼吸器)【分類できない】
急性毒性	：	(経口，経皮，吸入) ガラス繊維は消化器官で吸収されない。また、懸念される官能基も持たないため、有害性は低いと考えられる。その他成分に関しては、樹脂化(固体化)された状態でのデータはない。【分類できない】
発がん性	：	IARC-Group3,ACGIH-A4,日本産業衛生学会-3群。【区分外】
変異原性	：	【分類できない】
生殖毒性	：	【分類できない】
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	：	職業ばく露で一時的な気道刺激性が認められているが、ばく露がなくなると消失する。【区分３】
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	：	ガラス長繊維は吸入の可能性なく、労働者の疫学調査で健康への有意な悪影響認められていないとの情報がある。【分類できない】
吸引性呼吸器有害性	：	【分類できない】

１２．環境影響情報

生体毒性	：	水性環境有害性； ガラス繊維は消化器官で吸収されない。また、懸念される官能基も持たないため、有害性は低いと考えられる。その他成分に関しては、樹脂化(固体化)された状態でのデータはない。
残留性、分解性	：	生分解性はなく安定
生体蓄積性	：	データなし
土壌中の移動性	：	土壌中の移動性は極めて低いと考えられる
他の有害影響	：	漏洩、廃棄の際には、環境に影響を与える恐れの疑いがあるので、取扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れないように対処すること。

１３．廃棄上の注意

以下の情報を参考に分類の上、許可を受けた専門業者に処理を委託する。詳細は法律（廃掃法及び容器包装リサイクル法）に従う。フジクロスＶは焼却または埋立処理を行う。焼却時は大気汚染防止法等の諸法令に適合した方法にて焼却する。埋め立てるときは、[廃掃法]に従って、公認の産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

容器・包装の廃棄	：	空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収する。 （ ）に管理型・安定型の区分を示す。 外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理。(単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物) 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理。(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。) プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチックとして処理（単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。)

１４．輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件	：	取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。 転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
陸上	：	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空	：	航空法に定めるところに従うこと。
国連番号・分類	：	該当しない。

１５．適用法令

法規制	：	化学物質管理促進法（PRTR 法）の該否については 3. 組成、成分情報内に示す。 労働安全衛生法 57 条の 2 第 1 項 通知対象物； 3. 組成、成分情報内に示す。 廃掃法；産業廃棄物、廃プラスチック類

１６．その他の情報

引用、参考文献	：	独立行政法人　製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ　GHS 分類結果データベース 原料メーカーの MSDS 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 国際化学物質安全カード(ICSC) 製品安全データシートの作成指針(改訂版)　日本規格協会(平成 13 年 10 月) 日本工業規格　JIS Z 7252:2014 GHS に基づく化学物質等の分類方法 国連 GHS 文書　改訂 5 版　(2013) 危険物船舶運送及び貯蔵規則　14 訂版　海文堂
含有量表示基準	：	PRTR 指定物質及び劇毒物は有効数字 2 桁。労安通知物質その他は 5%刻みの未満表示（10%未満の場合は 1%刻み）で表す。

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。なお、新しい知見により改訂されることがあります。
・危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないでください。